

大阪府保育士会だより



# ほほえみ

平成 27 年 9 月 1 日  
第 102 号  
大阪府社会福祉協議会  
保育部会・保育士会  
大阪府中央区中寺 1-1-54  
TEL 06-6762-9001

27 年度近畿プロ集  
京都大会

## ビデオで子どもの目線観察、 斬新なアイデアを实践 危険を共有、職員間の意識変化も 第3分科会「保育者の資質向上」

大東市・聖心保育園発表

平成27年度近畿プロック保育研究会京都大会が7月9、10の両日、ホテルグランヴィア京都で開かれ、「保育者の資質向上を図る」をテーマにした第3分科会で、大東市の聖心保育園の園長、永田英子さんと主任保育士の若仁麻美さんが「危機管理を通してみんなで考え資質の向上を図る」子どもの安全のために」と題し発表されました。

発表内容は「命の大切さ」を職員全員で共有するための独自の試みの一つであるビデオを使って子どもと目線を知る研修が大きなポイント。ビデオカメラを台車に固定して移動、1歳児の目線の高さを検証するという斬新でユニークなアイデアを紹介。

職員は5名ずつのグループを組み、休憩時間などを活用してこのビデオを観察、役にこだわらず、気付いた点を自由に発言すること、必ず意見を述べることだけがルールだそうです。

### 職員全員参加で「リスクマップ」完成

また、毎日生活している保育室や園庭をもっとよく知り、すべての職員が参加して役割分担し、危険な場所や遊具の使い方など「リスクマップ

プ」を完成させます。子どもたちへの説明は新人職員が担当。子どもたちと一緒に活用できるように、実演も交え、わかりやすいように説明の仕方を工夫されています。いずれの研修も、傾聴・受容を念頭に置くことを重視。このため職員からは「話をじっくり聴くことで、後輩の悩み、不安を理解することができた」「人前で話すことが苦手だったが、今回の経験で少し自信がもてそう」といった感想も寄せられ、先輩、後輩の関わり方にも変化が生まれ、今後の園全体の質の向上につながるかと期待されています。



リスクマップの一例

の意欲・主体性②専門性の向上③保育者同士の連携④実践性の4つであり、これらが達成されるためには、園全体で取り組み、園全体のものにしていくことが大切。聖心保育園の試みは、まさしくこのねらいを達成したもので、大いに学ぶべき」と総括されました。

保育者の資質の向上とは、新しい知識の獲得だけでなく、日常的に取り組まなければならないことがきちんとできているか、園全体で検証し、職員がお互いに切磋琢磨することが重要であると改めて教えられました。

なお、聖心保育園は全国保育研究大会（開催地山口県）でも発表されます。

（枚方市 T・K）

## 春の叙勲

### 瑞宝単光章受章



大西潤子氏

（保育士会前会長・古川園園長）

### 心引き締め子どもに仕えたい

戦後70年。大空襲の戦火にまみれた私も古稀となり、多くの方のお導きで、春の叙勲の栄に浴することができました。皇居豊明殿での天皇陛下のご拝謁、お言葉を賜りました。

また、保育部会・保育士会の諸先輩や皆様からもお励ましやねぎらいを頂き、重ねて感謝申し上げます。

これからも幼い子どもたちの声なき声に耳を傾け、様子をうかがい、心引き締めて子どもに仕えて参ります。

子育て支援シリーズ④

# 地域への発信キーワードは

## 「遊」「食」「眠」「笑」

### 毎月開く『なかよしクラブ』で、みんなナ・カ・ヨ・シ

—高石市 加茂保育園

高石市にある加茂保育園

では、遊びを保育活動の中心に置き、良く食べ、良く眠り、良く笑える楽しい園づくりをモットーにされています。

このため、地域に発信する子育て支援活動も「遊」「食」「眠」「笑」がキーワードです。

具体的な取り組みでは毎月開催する『なかよしクラブ』があります。

子どもたちも保護者のみなさんも、みんなが仲良しになれる場として、園庭で遊んだり、親子のふれあいや在園児との交流を行っています。

園庭では砂場遊びやポ



ル遊びが人気です。

子どもたちが遊ぶようすを見ながら、お母さん同士のコミュニケーションも弾むようすです。

室内では、身体測定やコーナー遊びを取り入れ、手先を使う知育玩具や絵本遊びなど子どもの発達に応じた魅力的な環境づくりを意識的に進められています。

はじめはちょっと不安でも、子どもたちは好きな遊びを見つけ、保護者と離れて遊ぶ姿も見られるようすです。

有資格者のベビーマッサージや離乳食講習会も好評です。離乳食講習会では、初期・中期・後期への移行の仕方を、実際に食べて見せたり、ご飯のアレンジレシピをアドバイスするのも特色の一つ。質問には栄養士が対応、参加された方から「栄養士さんがすぐにこたえてくれるのでうれしい」「初めての離乳食で不安だったけど

盛りあがる講座となりました。

夏には水遊び、秋には親子リトミック、冬にはクリスマス会が行われますが、保護者同士が子どもの相談や情報を交換する場にもなっています。

今年6月に講師を招き子育て講座を開催。遊びを通じて成長する子どもの姿や子育てのヒントなどのほか、参加者と保育士が一緒に多彩なゲームを楽しみ、子どもより大人が熱く

積極的に立案し、地域に根付いた子育て支援を続けることが、子どもたちと保護者の笑顔が絶えない地域づくりにつながると思われま

(高石市 T・A)

## 子どもが笑顔になる

### 5つの魔法教えます！

保育士研修会で原坂一郎氏

保育士研修会が6月30

日、ホテルアウィーナ大阪で開かれ、「保育に役立つ

7つの話」聴くだけで保育が楽しくなる講座」を



原坂一郎氏

一つ、「保育が上手いく2つのルール」について原坂氏はまず、子どもを認めることが大切、外見や性格、言葉、行動を否定してしまわないで、あるがままに受

け入れ認めてあげるという姿勢が重要と強調。2点目は、子どもを笑顔にするこ

うにも見え、絵本とはまた違った世界を見せてくれました。

(堺市 H・K)



そえんじ氏

① 触れる (ハイタッチ、頭をなでる、手を繋ぐなど)

② 話す (一対二で10秒でよい)

③ 遊ぶ (20秒〜30秒くらい)

④ 誉める (当たり前的事を誉める)

⑤ 笑う (こちらから先に笑う)

人間関係では好みがあう、合わないはあるものの、笑顔で話す習慣をつけておくと、相手も自然と笑顔になり、印象も変わる。人と人とのふれあいの中で「笑顔」は重要な要素ということ

原坂氏はまた、ホワイトボードとマーカーを使って読み聞かせを行い、話が進むにつれ次々と描かれていく登場人物は動いているよ

なお、講座半ばのリフレッシュタイムには、原坂氏と親交のあるシンガーソングライターの「そえんじ」氏によるミニコンサートがあり、「大きなのっぽの古時計」など歌とギター演奏が披露されました。

●「人」もリスク要因

保育園にとって大事な財産であると同時に、リスクでもあるもの。それが「働く人たち」です。保育者だけでなくではありません。園長を筆頭とする管理者、調理師、栄養士、看護師、用務や事務の方、すべての人たちが「人」に起因するリスクをいかにマネジメントするかは喫緊の課題になっていきます。

まずは、たいへんな人手不足。都市部以外でも人材の流出が続ぎ、人手不足が起きています。そして、人手不足のなか、経験の浅い人をどの立場にも使わなければならないがゆえの質の低下。

保育は、例えば事務仕事とは違って、マニュアルを読めばできる仕事ではありません。頭でわかっても「実際にからだ動く」ようになるまでは時間がかかり、毎日、ようすが違う子どもたちに合わせて応用がきくようになる(＝「保育の引き出しが増える」)までにはもっと時間がかかる。保育は一種の職人技です。

その職人の卵たちを修行もなしに4月1日から現場に出すこと自体、職業トレーニングの観点からすると無謀なのですが、これまでは職場の中で育つ余裕があったのでしょう。

今は、育つことも育てることもままならない。そして、(本来は保育士の仕事の領域ではない) 保護者対応まで、職に就いたその日から要求されます。

こうした状況下で、「人」のリスクをどうマネジメントしていけばよいのでしょうか。

●口頭だけでは覚えていられないで当然

保育現場で多発する大きなリスクは、情報が伝わらないことです。「伝えられた」「伝えるのが遅れた」「間違っ

て伝えた」「伝えられた側が覚えていなかった」「誤解をした」等々。職員の間トラブルにもなり、保護者との間のトラブルにもつながります。危険の情報が伝わらなければ、子どもの命にも関わります。

メールを使えるなら、(私

もそうですが)すぐに伝えられますし、質問もできます。保育現場では、これがまったくできません。

そうすると、頭で覚えておいて口で伝えることになるのですが、これは非常に頼りない方法です。

人間の頭はそうそうモノを覚えておけない。そして、情報は次から次へと入ってきます。「覚えておけるわけがない。忘れてあたりまえ」、この事実を事実として認識するところからリスク・マネジメントが始まります。

●とにかくメモを書く！  
私はいつも、「メモ用紙を一枚、ポケットに入れておいて」とお話しします。ボールペンもポケットに入れておけばいいのでしょうけれど、これは布越しにペン先が出て、子どもに刺さった事例もありますから、お勧めしません。

伝言や連絡を受けたら、まず復唱します。「はい」だ

学びシリーズ33

保育におけるさまざまなリスク・マネジメント(第2回) 「園内の報・連・相」で取り組む リスク・マネジメント

保育の安全研究・教育センター代表 掛札逸美

けではダメです。相手が言い間違っている可能性、こちらが聞き違っている可能性がありますから、絶対に復唱をします。連絡した側も、相手に「復唱して」と言ってください。まずは「復唱」を行動ルールにするの

ら、メモを書きます。この時に「あれ? なんだったっけ?」と思ったら確認しましょう。人間は「忘れてあたりまえ」ですから、ここで確認をしなければ大変なことになりかねません。最低限、「く先生からなにかなわれた」とだけ覚えていれば、「ごめんなさい、さっきの連絡、なんでしたか?」と訊くことができます。

この時、伝えた側は「覚えてないの? ダメね」と怒ってはいけません。「怒られるから」と、次は聞き直してこなくなります。なにより、忘れない人、言い間違いや聞き間違いをしない人はいません。「なんでしたっけ?」と言いやすい環境づくりが先決です。

●報・連・相のメモは「時間、名前、用件」

園長や主任など、事務室にいる人に報告・連絡・相談をする時は簡単です。「電話中、接客中、留守中などはメモを残す」というルールにしておき、園長、主任の机のまわりにメモを貼りつける場所を作ってお

きます。話し中に「ちょっといいですか」と割り込まれるのは不快です。かといって、園長や主任の手があくまで事務室でウロウロしていたのでは、時間のムダ。だからメモ、です。

メモに書くのは、「今の時間」「自分の名前」「用件」「内容の件」「運動会の種目について」程度です。保育士さんはこと細かに書き過ぎる傾向がありますから、用件だけを簡単に書く訓練をすることも大事です。

貼りつけられたメモを見た園長、主任は、優先順位を判断して、話を聞きに行きましょう。億劫がって「事務室にく先生を呼んで」と言うべきではありません。自分から保育室に向きま

しょう。保育を目の端で観察する機会にもなりますから。

「報連相をしっかりしましょう。ただではできません。具体的な行動ルールを決めてください。」

富田林市北部の「梅の里保育園」は平成18年に開園し、今年10年目を迎えました。子育て支援センターをはじめ休日保育、病後時保育、一時保育などの特別保育に特色があります。保育理念である「心をこめよう、みがこう、つくろう、つなごう」を基本に

取り組まれている地域とのふれあい活動は見逃せません。

地域とともに  
ふれあいたい

「動物村」を開催し地域にも公開

—農芸高校が協力—

年2回の高齢者施設訪問も

富田林市 梅の里保育園

その一つは4月の「家族ふれあい感謝デー」。大阪府立農芸高校「ふれあい動物部」の生徒さんに「動物村」を開催してもらい、園児、保護者だけでなく、地域のみなさんも参加されます。

この日、集まったのはヤギ・ヒツジ・ウサギ・チンチラなどの動物たち。同高校の生徒さんからは、動物とのふれあい方の説明や注意を受け、園児たちも興



高校生のお兄さんと一緒に餌やり

味津々でお兄さんに質問攻め。餌を与えたり、抱っこをしてふれあいを楽しみます。動物とのふれあいを通し地域の方とも関わることができるといわれています。

また、年に2回、老人施設を訪問し交流を図るのもふれあい活動の一環。7月には、施設の高齢者と一緒に園児たちが七夕飾りを作り、笹に飾ってプレゼントします。また、9月の敬老の日には、園児の手作りの品をプレゼント

「保育の工夫—現場を訪ねて—」

お昼寝時間  
シルバーさんのお力借ります！  
会議出席や休憩確保など保育士にメリットも

「あけぼのぶんぶん」は豊中市に所在する0、1、2歳の乳児施設です。今年2月に新園舎が完成、定員も45人に倍増、新しい場所に移転。木を基調とした新園舎は建物に一歩入ると木の香りが漂い、子どもたちの心をワクワクさせる仕掛けも豊富な環境に驚かされました。

特に挙げたいのは、午後1時〜3時の2時間、子どもも昼寝時間ですが、豊中市のシルバー人材センターに登録されている方がサポートし、歌を披露したり、「げんこつ山のためきさん」や「肩たたき」などのふれあい遊びをします。みなさんは「かわいいね」と、子どもたちの手を握り、なかには涙ぐまれる方も。子ども元気パワーを実感するのはそんな時でしょうか。

担当保育士の一人は「核家族で高齢者とのふれあい

の少ない時代、車椅子の方、寝たきりや言葉が不自由な方がおられることを子どもたちにも知ってほしい、いたわる心を育ててほしいという願いがあります。これからは高校生との交流や地域や高齢者の方との心のふれあいを大切にしていきます」と話されていました。

（大阪狭山市 K・J）



れ、毎日2名ずつが交代でお手伝いに来られます。子どもが目覚めている時は一緒に遊んだり、本を読んでも聞かせたり、全員が寝ていけば、軽作業をお願いしたりするそうです。

当初は人見知りする子どももいたようですが、ゆったりとした関わりは子どもたちの安心に繋がっており、今ではシルバーさんの姿に両手を上げ手招きする0歳児も見られるそうです。

部屋には補助の保育士もいます。皆さんの園では夏の行事が終わり、息つく間もなく、運動会、体験学習など多忙な日々をお過ごしのことと思います。一方、新制度スタートから子ども園に移行された園は少しは落ち着かれたでしょうか。

編集後記

残暑厳しい日が続きます。皆さんの園では夏の行事が終わり、息つく間もなく、運動会、体験学習など多忙な日々をお過ごしのことと思います。一方、新制度スタートから子ども園に移行された園は少しは落ち着かれたでしょうか。

無邪気な子どもの笑顔や声

う。夏バテされませんように！

「この取り組みを始めてから保育士が質の良い保育を行ううえで欠かせない会議や休憩時間の確保について、随分助けられるようになりました」と杉岡起久子園長は指摘されています。

（豊中市 A・H）